

# 平成 2 1 年度病害虫発生予察指導情報

対象病害虫：ナシ・ハダニ類 (No. 1)

平成 2 2 年 1 月 4 日  
鳥取県病害虫防除所

## 1. 情報の内容

- (1) 県内巡回定点におけるカンザワハダニの越冬量は1バンド当たり平均0.1頭(平年：13.2頭)で、平年より少ない。
- (2) ナミハダニの越冬量は1バンド当たり0頭(平年：0.0頭)で、今回の調査では確認できなかった。
- (3) クワオオハダニの休眠卵数は1短果枝当たり1.7個(平年：2.3個)で、平年並である。

表 1 ナシにおけるハダニ類の越冬密度

調査地点	カンザワハダニ(成虫)			ナミハダニ(成虫)			クワオオハダニ(越冬卵)		
	本年	前年	平年 <sup>1</sup>	本年	前年	平年 <sup>1</sup>	本年	前年	平年 <sup>1</sup>
東部	鳥取市 祢宜谷	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	1.0	1.2
	鳥取市 佐治町	0.0	0.0	18.7	0.0	0.0	0.0	34.6	4.6
	鳥取市 青谷町 <sup>2</sup>	0.3	0.0	1.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.7
	八頭町 花原 <sup>3</sup>	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	7.8	1.3
中部	倉吉市 中野 <sup>4</sup>	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2
	湯梨浜町 別所 <sup>5</sup>	0.2	11.7	5.4	0.0	0.0	0.1	0.3	1.1
	琴浦町 八橋	0.0	0.7	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6
	琴浦町 竹ノ内 <sup>3</sup>	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	17.6	9.3
西部	大山町 坪田 <sup>5</sup>	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	5.1	1.3
	南部町 朝金	0.2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	10.2	1.7
県平均		0.1	1.2	13.2	0.0	0.0	0.0	7.7	2.3

<sup>1</sup>: 平年はH11~20年の平均値

<sup>2</sup>: 平年はH15~20年の平均値

<sup>3</sup>: H20年から調査地点変更

<sup>4</sup>: H21年から調査地点変更

<sup>5</sup>: 平年はH13~20年の平均値

調査方法：9月に紙バンドをほ場に設置。園当たり6バンド(1樹3バンド、2樹設置)。12月に紙バンドを回収後、バンド当たりのカンザワハダニ及びナミハダニ越冬個体数を調査。同時に園当たり20短果枝を採取し、短果枝当たりのクワオオハダニ越冬卵数を調査。

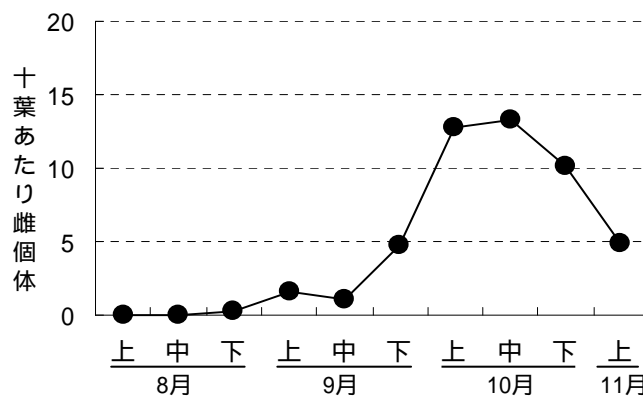


図 1 クワオオハダニ雌個体数の推移 (園試、県予察ほ場)

(4) 平成21年9月下旬以降、平均気温が高く推移した。県予察ほ場(園試)では、クワオオハダニの発生密度が増加し、平年と比較して越冬卵数(H21:12.0個/短果枝、平年(H11~20年:9.7個/短果枝))もやや多い。

## 2. 防除上注意すべき事項

秋期にハダニ類の発生密度が高かった園では、越冬量が多いと予想されるため、休眠期の防除を徹底する。カンザワハダニ及びナミハダニには(1)~(3)、クワオオハダニには(3)が有効である。

### (1) 誘殺バンドの取りはずし

主枝や亜主枝に誘殺バンドを設置している園では、12~2月にバンドを取りはずして処分する。

### (2) 粗皮削り

12~2月に、カンザワハダニやナミハダニの越冬場所である粗皮を削り取る。特に、誘殺バンドを巻き付けた部分の粗皮は必ず削り取っておく。

### (3) 薬剤散布

3月中旬に、マシン油乳剤(ハーベストオイル)50倍液を散布する。